



平成 24 年 12 月 13 日

各位

会社名 コマニー株式会社
代表者名 代表取締役社長 塚本 幹雄
(コード番号 7945 名証第二部)
問合せ先 取締役管理統括本部長 塚本 健太
(TEL. 0761-21-1144)

(訂正)「平成 22 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」の一部訂正について

当社は、海外における事業及びそれに関わる取引に関して、不適切な処理が行われたとの疑義が生じたため、平成 24 年 10 月 3 日に当社と利害関係の無い外部有識者のみによる第三者委員会を設置し調査を行い、平成 24 年 10 月 30 日に同委員会より調査報告書を受領しました。

この調査結果を受けて、当社は連結範囲の変更の要否、関連当事者との取引に係る記載の訂正の要否等を検討いたしました。また、これを契機に、中国の連結子会社の売上高計上等の会計処理及び当社の過去の決算における繰延税金資産の回収可能性等の会計処理について再度検討を行い、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 21 年 7 月 30 日付「平成 22 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には__を付して表示しております。

以 上

【訂正後】

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 名

上場会社名 コマニー株式会社

コード番号 7945 URL <http://www.comany.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 幹雄

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部副本部長 (氏名) 富樫 弘史

TEL 0761-21-1144

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	5,096	△19.0	△632	—	△595	—	△382	—
21年3月期第1四半期	6,295	—	△367	—	△341	—	△266	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△40.61	—
21年3月期第1四半期	△24.71	—

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	28,933	20,617	71.2	2,188.66
21年3月期	29,358	20,952	71.3	2,224.34

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 20,592百万円 21年3月期 20,927百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	13,000	△1.3	△80	—	△80	—	△90	—	△9.57
通期	28,000	5.8	600	—	600	—	295	—	31.35

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	9,924,075株	21年3月期	10,924,075株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	515,528株	21年3月期	1,515,458株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	9,408,584株	21年3月期第1四半期	10,788,967株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

・業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来の世界的な金融危機が及ぼした混乱は根強く、住宅投資や設備投資の減少に歯止めがかからず、依然として厳しい経済環境が続いております。

間仕切業界につきましては、市場の縮小、販売価格の競争激化等、極めて厳しい状況が続いております。民間企業が設備投資を控えたこと等から需要が低迷しており、地域間の需要格差も一層の広がりを見せております。

このような情勢のもと、当社は営業部門の強化を進め、新規顧客の開拓や既存顧客への提案営業による受注の拡大、顧客ニーズに適應する製品の開発等、積極的に取り組んでまいりました。しかし、建築工事の需要減少等による市場縮小や競争激化は想定以上に厳しく、売上高は前年同四半期と比べ11億98百万円減少の50億96百万円となりました。

品目別売上高につきましては、主要品目のハイパーパーティションが最も市場縮小の影響を受け、前年同四半期と比べ13億32百万円減少の26億円となりました。一方、クリーンルームパーティションとドア製品については、前連結会計年度末の受注残を計画通り納入し、クリーンルームパーティションは前年同四半期と比べ1億94百万円増加の6億56百万円、ドア製品は前年同四半期と比べ1億78百万円増加の5億61百万円となりました。

損益面では、全社を挙げて原価低減活動に取り組みましたが、売上高の減少に伴う利益の減少を吸収できず、売上総利益率は31.1%(前年同四半期比4.0ポイント低下)となりました。営業損失は6億32百万円(前年同四半期は営業損失3億67百万円)、経常損失は5億95百万円(前年同四半期は経常損失3億41百万円)、四半期純損失は3億82百万円(前年同四半期は四半期純損失2億66百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ4億24百万円減少の289億33百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ4億2百万円減少の163億45百万円となりました。これは、現金及び預金が8億67百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が15億9百万円減少したこと等によります。固定資産は、前連結会計年度末と比べ22百万円減少の125億87百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ63百万円減少の36億19百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末と比べ26百万円減少の46億96百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ3億34百万円減少の206億17百万円となりました。これは、利益剰余金が14億91百万円、自己株式が9億77百万円、それぞれ減少したこと等によります。自己資本比率は、前連結会計年度末と比べ0.1ポイント低下の71.2%となりました。

キャッシュ・フローにつきましては、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は53億58百万円で、前連結会計年度末と比べ8億67百万円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は10億39百万円となりました。これは主に、減価償却費2億41百万円、売上債権の減少額15億67百万円等による増加と、税金等調整前四半期純損失5億95百万円、賞与引当金の減少額2億7百万円、仕入債務の減少額4億82百万円等による減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は82百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出66百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は1億7百万円となりました。これは主に、配当金の支払額1億17百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期連結会計期間末にかけて、日本経済は輸出の持ち直しとともに鉱工業生産も上向きに転じており、景気は最悪期を脱したと見られております。また、受注残高が前年同四半期並であることから、平成21年4月28日に発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

③ 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,359,027	5,491,882
受取手形及び売掛金	7,118,451	8,628,125
有価証券	99,916	99,884
商品及び製品	951,389	890,317
仕掛品	122,027	112,090
原材料及び貯蔵品	616,805	642,453
繰延税金資産	603,212	368,986
その他	528,349	563,060
貸倒引当金	△53,224	△48,484
流動資産合計	16,345,954	16,748,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,984,388	3,012,879
機械装置及び運搬具(純額)	1,538,898	1,549,249
土地	3,389,463	3,389,463
その他(純額)	231,756	246,935
有形固定資産合計	8,144,507	8,198,528
無形固定資産		
その他	937,762	991,024
無形固定資産合計	937,762	991,024
投資その他の資産		
その他	3,533,511	3,448,628
貸倒引当金	△28,000	△28,000
投資その他の資産合計	3,505,511	3,420,628
固定資産合計	12,587,781	12,610,181
資産合計	28,933,735	29,358,498

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,194,739	1,659,162
短期借入金	385,500	300,000
未払法人税等	60,362	45,100
賞与引当金	206,230	414,200
役員賞与引当金	1,219	2,520
その他	1,771,632	1,262,337
流動負債合計	3,619,684	3,683,320
固定負債		
長期借入金	1,550,000	1,625,000
再評価に係る繰延税金負債	434,747	434,747
退職給付引当金	2,406,807	2,358,146
その他	304,650	304,650
固定負債合計	4,696,205	4,722,544
負債合計	8,315,889	8,405,864
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,121,391	7,121,391
資本剰余金	7,412,790	7,412,790
利益剰余金	6,466,098	7,957,459
自己株式	△503,970	△1,481,525
株主資本合計	20,496,309	21,010,116
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	92,438	20,370
土地再評価差額金	226,788	226,788
為替換算調整勘定	△223,428	△329,299
評価・換算差額等合計	95,797	△82,141
少数株主持分	25,738	24,658
純資産合計	20,617,845	20,952,633
負債純資産合計	28,933,735	29,358,498

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	6,295,370	5,096,985
売上原価	4,087,672	3,511,293
売上総利益	2,207,698	1,585,691
販売費及び一般管理費	2,574,835	2,218,454
営業損失(△)	△367,137	△632,762
営業外収益		
受取利息	6,542	4,405
受取配当金	10,807	8,808
受取賃貸料	1,396	1,718
為替差益	—	10,056
デリバティブ評価益	—	34,127
その他	40,120	16,505
営業外収益合計	58,866	75,622
営業外費用		
支払利息	5,720	8,556
為替差損	9,969	—
売上割引	7,473	4,657
デリバティブ決済損	—	21,338
その他	9,958	3,817
営業外費用合計	33,122	38,369
経常損失(△)	△341,392	△595,510
特別損失		
固定資産除却損	206	389
投資有価証券評価損	16,225	—
特別損失合計	16,431	389
税金等調整前四半期純損失(△)	△357,823	△595,899
法人税等	△91,213	△213,101
少数株主損失(△)	△61	△761
四半期純損失(△)	△266,549	△382,037

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△357,823	△595,899
減価償却費	231,731	241,593
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6,129	48,661
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△46,600	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△320,327	△207,969
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,538	△1,300
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,979	2,979
受取利息及び受取配当金	△17,350	△13,213
支払利息	5,720	8,556
有形固定資産除売却損益(△は益)	206	389
売上債権の増減額(△は増加)	1,687,287	1,567,967
たな卸資産の増減額(△は増加)	△226,621	△27,101
仕入債務の増減額(△は減少)	△511,670	△482,560
その他	705,141	503,594
小計	1,121,045	1,045,696
利息及び配当金の受取額	16,231	12,758
利息の支払額	△5,738	△8,421
法人税等の支払額	△73,017	△16,478
法人税等の還付額	—	5,898
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,058,520	1,039,453
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△57,617	△66,899
有形固定資産の売却による収入	—	283
その他	△192,480	△16,135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△250,098	△82,751
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	85,500
長期借入金の返済による支出	△59,400	△75,000
自己株式の取得による支出	△8,924	△48
配当金の支払額	△142,312	△117,608
財務活動によるキャッシュ・フロー	△210,637	△107,157
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,005	17,631
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	573,779	867,175
現金及び現金同等物の期首残高	5,387,766	4,491,767
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,961,545	5,358,943

(追加情報)

(格満林(南京)実業有限公司の売上高計上等)

当第1四半期連結会計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

当社は、中国の連結子会社の売上高計上等の会計処理について再度、検討を行いました。この結果、格満林(南京)実業有限公司の売上高、売上原価、売掛金、棚卸資産、貸倒引当金及び買掛金の計上に関する証憑の一部が保管されていないことなどが判明しました。このため、同社に保管されていた試算表その他の帳簿等をもとに訂正報告書の四半期連結財務諸表を作成しております。なお、同社の売上高、売上原価、売掛金、棚卸資産、貸倒引当金及び買掛金は、四半期連結損益計算書及び四半期連結貸借対照表の中に以下のとおり含まれております。

<u>売上高</u>	<u>105,590千円</u>
<u>売上原価</u>	<u>156,008千円</u>
<u>売掛金</u>	<u>572,733千円</u>
<u>棚卸資産</u>	<u>269,338千円</u>
<u>貸倒引当金</u>	<u>△13,708千円</u>
<u>買掛金</u>	<u>40,266千円</u>

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

当社グループの事業は、間仕切事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

当社グループの事業は、間仕切事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

② 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,163,360	<u>132,010</u>	<u>6,295,370</u>	—	<u>6,295,370</u>
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,152	82,868	95,020	(95,020)	—
計	6,175,512	<u>214,878</u>	<u>6,390,391</u>	(95,020)	<u>6,295,370</u>
営業損失(△)	△329,394	<u>△38,622</u>	<u>△368,016</u>	879	<u>△367,137</u>

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,974,646	<u>122,338</u>	<u>5,096,985</u>	—	<u>5,096,985</u>
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,334	57,457	63,792	(63,792)	—
計	4,980,981	<u>179,796</u>	<u>5,160,778</u>	(63,792)	<u>5,096,985</u>
営業損失(△)	△566,522	<u>△68,580</u>	<u>△635,103</u>	2,340	<u>△632,762</u>

③ 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位 千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	7,121,391	7,412,790	7,957,459	△1,481,525	21,010,116
当第1四半期連結会計期間末までの 変動額					
剰余金の配当			△131,720		△131,720
四半期純損失			△382,037		△382,037
自己株式の取得				△48	△48
自己株式の消却 ※		—	△977,603	977,603	—
当第1四半期連結会計期間末までの 変動額合計	—	—	△1,491,361	977,554	△513,806
当第1四半期連結会計期間末残高	7,121,391	7,412,790	6,466,098	△503,970	20,496,309

※ 平成21年5月に自己株式1,000,000株(977,603千円)を消却しました。

6. その他の情報

受注及び販売の状況

① 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
ハイパーティション	<u>3,190,370</u>	<u>68.6</u>	<u>3,375,596</u>	<u>102.3</u>
ローパーティション	233,905	60.5	61,977	69.8
移動パーティション	240,655	66.1	668,834	158.3
トイレパーティション	748,642	97.5	1,238,999	122.8
クリーンルームパーティション	484,649	53.8	461,699	44.9
ドア製品	480,787	66.3	1,424,774	95.1
その他	363,909	122.1	229,911	132.9
合計	<u>5,742,922</u>	71.0	<u>7,461,793</u>	<u>99.2</u>

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
ハイパーティション	<u>2,600,512</u>	66.1
ローパーティション	236,878	56.6
移動パーティション	239,728	77.9
トイレパーティション	479,463	95.9
クリーンルームパーティション	656,159	142.1
ドア製品	561,902	146.4
その他	322,339	111.3
合計	<u>5,096,985</u>	<u>81.0</u>

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 いずれの販売先も、販売実績の総額の100分の10未満であるため、相手先別の販売実績及び当該販売実績に対する割合の記載を省略しております。

【訂正前】

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 名

上場会社名 コマニー株式会社

コード番号 7945 URL <http://www.comany.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 幹雄

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部副本部長 (氏名) 富樫 弘史

TEL 0761-21-1144

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	5,094	△19.1	△632	—	△594	—	△382	—
21年3月期第1四半期	6,293	—	△367	—	△342	—	△267	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△40.61	—
21年3月期第1四半期	△24.80	—

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	28,906	20,592	71.2	2,188.66
21年3月期	29,332	20,927	71.3	2,224.34

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 20,592百万円 21年3月期 20,927百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	13,000	△1.2	△80	—	△80	—	△90	—	△9.57
通期	28,000	5.9	600	—	600	—	295	—	31.35

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	9,924,075株	21年3月期	10,924,075株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	515,528株	21年3月期	1,515,458株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	9,408,584株	21年3月期第1四半期	10,788,967株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

・業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来の世界的な金融危機が及ぼした混乱は根強く、住宅投資や設備投資の減少に歯止めがかからず、依然として厳しい経済環境が続いております。

間仕切業界につきましては、市場の縮小、販売価格の競争激化等、極めて厳しい状況が続いております。民間企業が設備投資を控えたこと等から需要が低迷しており、地域間の需要格差も一層の広がりを見せております。

このような情勢のもと、当社は営業部門の強化を進め、新規顧客の開拓や既存顧客への提案営業による受注の拡大、顧客ニーズに適應する製品の開発等、積極的に取り組んでまいりました。しかし、建築工事の需要減少等による市場縮小や競争激化は想定以上に厳しく、売上高は前年同四半期と比べ11億99百万円減少の50億94百万円となりました。

品目別売上高につきましては、主要品目のハイパーティションが最も市場縮小の影響を受け、前年同四半期と比べ13億33百万円減少の25億98百万円となりました。一方、クリーンルームパーティションとドア製品については、前連結会計年度末の受注残を計画通り納入し、クリーンルームパーティションは前年同四半期と比べ1億94百万円増加の6億56百万円、ドア製品は前年同四半期と比べ1億78百万円増加の5億61百万円となりました。

損益面では、全社を挙げて原価低減活動に取り組みましたが、売上高の減少に伴う利益の減少を吸収できず、売上総利益率は31.1%(前年同四半期比4.0ポイント低下)となりました。営業損失は6億32百万円(前年同四半期は営業損失3億67百万円)、経常損失は5億94百万円(前年同四半期は経常損失3億42百万円)、四半期純損失は3億82百万円(前年同四半期は四半期純損失2億67百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ4億25百万円減少の289億6百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ4億2百万円減少の163億19百万円となりました。これは、現金及び預金が8億69百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が15億12百万円減少したこと等によります。固定資産は、前連結会計年度末と比べ22百万円減少の125億87百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ63百万円減少の36億18百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末と比べ26百万円減少の46億96百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ3億35百万円減少の205億92百万円となりました。これは、利益剰余金が14億91百万円、自己株式が9億77百万円、それぞれ減少したこと等によります。自己資本比率は、前連結会計年度末と比べ0.1ポイント低下の71.2%となりました。

キャッシュ・フローにつきましては、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は53億15百万円で、前連結会計年度末と比べ8億69百万円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は10億45百万円となりました。これは主に、減価償却費2億41百万円、売上債権の減少額15億70百万円等による増加と、税金等調整前四半期純損失5億95百万円、賞与引当金の減少額2億7百万円、仕入債務の減少額4億79百万円等による減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は82百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出66百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は1億7百万円となりました。これは主に、配当金の支払額1億17百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期連結会計期間末にかけて、日本経済は輸出の持ち直しとともに鉱工業生産も上向きに転じており、景気は最悪期を脱したと見られております。また、受注残高が前年同四半期並であることから、平成21年4月28日に発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

③ 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,315,832	5,445,880
受取手形及び売掛金	7,144,968	8,657,954
有価証券	99,916	99,884
商品及び製品	951,389	890,317
仕掛品	122,027	112,090
原材料及び貯蔵品	616,805	642,453
繰延税金資産	603,212	368,986
その他	518,714	553,457
貸倒引当金	△53,224	△48,484
流動資産合計	16,319,642	16,722,540
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,984,388	3,012,879
機械装置及び運搬具(純額)	1,538,898	1,549,249
土地	3,389,463	3,389,463
その他(純額)	231,180	246,370
有形固定資産合計	8,143,931	8,197,963
無形固定資産		
その他	937,762	991,024
無形固定資産合計	937,762	991,024
投資その他の資産		
その他	3,533,511	3,448,628
貸倒引当金	△28,000	△28,000
投資その他の資産合計	3,505,511	3,420,628
固定資産合計	12,587,205	12,609,616
資産合計	28,906,847	29,332,157

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,193,651	1,658,150
短期借入金	385,500	300,000
未払法人税等	60,362	45,100
賞与引当金	206,230	414,200
役員賞与引当金	1,219	2,520
その他	1,771,570	1,261,667
流動負債合計	3,618,535	3,681,638
固定負債		
長期借入金	1,550,000	1,625,000
再評価に係る繰延税金負債	434,747	434,747
退職給付引当金	2,406,807	2,358,146
その他	304,650	304,650
固定負債合計	4,696,205	4,722,544
負債合計	8,314,740	8,404,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,121,391	7,121,391
資本剰余金	7,412,790	7,412,790
利益剰余金	6,466,098	7,957,459
自己株式	△503,970	△1,481,525
株主資本合計	20,496,309	21,010,116
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	92,438	20,370
土地再評価差額金	226,788	226,788
為替換算調整勘定	△223,428	△329,299
評価・換算差額等合計	95,797	△82,141
純資産合計	20,592,107	20,927,975
負債純資産合計	28,906,847	29,332,157

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	6,293,692	5,094,525
売上原価	4,087,163	3,511,241
売上総利益	2,206,528	1,583,284
販売費及び一般管理費	2,574,213	2,215,963
営業損失(△)	△367,685	△632,679
営業外収益		
受取利息	6,528	4,374
受取配当金	10,807	8,808
受取賃貸料	1,396	1,718
為替差益	—	10,764
デリバティブ評価益	—	34,127
その他	40,120	16,505
営業外収益合計	58,853	76,299
営業外費用		
支払利息	5,720	8,556
為替差損	10,324	—
売上割引	7,473	4,657
デリバティブ決済損	—	21,338
その他	9,958	3,817
営業外費用合計	33,477	38,369
経常損失(△)	△342,309	△594,749
特別損失		
固定資産除却損	206	389
投資有価証券評価損	16,225	—
特別損失合計	16,431	389
税金等調整前四半期純損失(△)	△358,741	△595,138
法人税等	△91,213	△213,101
四半期純損失(△)	△267,528	△382,037

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△358,741</u>	<u>△595,138</u>
減価償却費	<u>231,718</u>	<u>241,561</u>
退職給付引当金の増減額(△は減少)	<u>△6,129</u>	<u>48,661</u>
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	<u>△46,600</u>	<u>—</u>
賞与引当金の増減額(△は減少)	<u>△320,327</u>	<u>△207,969</u>
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	<u>△16,538</u>	<u>△1,300</u>
貸倒引当金の増減額(△は減少)	<u>△5,979</u>	<u>2,979</u>
受取利息及び受取配当金	<u>△17,336</u>	<u>△13,182</u>
支払利息	<u>5,720</u>	<u>8,556</u>
有形固定資産除売却損益(△は益)	<u>206</u>	<u>389</u>
売上債権の増減額(△は増加)	<u>1,686,746</u>	<u>1,570,006</u>
たな卸資産の増減額(△は増加)	<u>△227,130</u>	<u>△27,101</u>
仕入債務の増減額(△は減少)	<u>△512,478</u>	<u>△479,060</u>
その他	<u>703,864</u>	<u>503,568</u>
小計	<u>1,116,995</u>	<u>1,051,969</u>
利息及び配当金の受取額	<u>16,217</u>	<u>12,727</u>
利息の支払額	<u>△5,738</u>	<u>△8,421</u>
法人税等の支払額	<u>△73,017</u>	<u>△16,478</u>
法人税等の還付額	<u>—</u>	<u>5,898</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>1,054,456</u>	<u>1,045,695</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	<u>△57,453</u>	<u>△66,899</u>
有形固定資産の売却による収入	<u>—</u>	<u>283</u>
その他	<u>△192,480</u>	<u>△16,135</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△249,933</u>	<u>△82,751</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	<u>—</u>	<u>85,500</u>
長期借入金の返済による支出	<u>△59,400</u>	<u>△75,000</u>
自己株式の取得による支出	<u>△8,924</u>	<u>△48</u>
配当金の支払額	<u>△142,312</u>	<u>△117,608</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△210,637</u>	<u>△107,157</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	<u>△22,503</u>	<u>14,196</u>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<u>571,381</u>	<u>869,983</u>
現金及び現金同等物の期首残高	<u>5,368,813</u>	<u>4,445,765</u>
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>5,940,194</u>	<u>5,315,748</u>

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

当社グループの事業は、間仕切事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

当社グループの事業は、間仕切事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

② 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,163,360	<u>130,331</u>	<u>6,293,692</u>	—	<u>6,293,692</u>
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,152	82,868	95,020	(95,020)	—
計	6,175,512	<u>213,200</u>	<u>6,388,713</u>	(95,020)	<u>6,293,692</u>
営業損失(△)	△329,394	<u>△39,170</u>	<u>△368,564</u>	879	<u>△367,685</u>

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,974,646	<u>119,878</u>	<u>5,094,525</u>	—	<u>5,094,525</u>
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,334	57,457	63,792	(63,792)	—
計	4,980,981	<u>177,336</u>	<u>5,158,317</u>	(63,792)	<u>5,094,525</u>
営業損失(△)	△566,522	<u>△68,497</u>	<u>△635,020</u>	2,340	<u>△632,679</u>

③ 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位 千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	7,121,391	7,412,790	7,957,459	△1,481,525	21,010,116
当第1四半期連結会計期間末までの変動額					
剰余金の配当			△131,720		△131,720
四半期純損失			△382,037		△382,037
自己株式の取得				△48	△48
自己株式の消却 ※		—	△977,603	977,603	—
当第1四半期連結会計期間末までの変動額合計	—	—	△1,491,361	977,554	△513,806
当第1四半期連結会計期間末残高	7,121,391	7,412,790	6,466,098	△503,970	20,496,309

※ 平成21年5月に自己株式1,000,000株(977,603千円)を消却しました。

6. その他の情報

受注及び販売の状況

① 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
ハイパーティション	<u>3,195,424</u>	<u>68.7</u>	<u>3,364,424</u>	<u>102.0</u>
ローパーティション	233,905	60.5	61,977	69.8
移動パーティション	240,655	66.1	668,834	158.3
トイレパーティション	748,642	97.5	1,238,999	122.8
クリーンルームパーティション	484,649	53.8	461,699	44.9
ドア製品	480,787	66.3	1,424,774	95.1
その他	363,909	122.1	229,911	132.9
合計	<u>5,747,975</u>	71.0	<u>7,450,621</u>	<u>99.1</u>

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
ハイパーティション	<u>2,598,052</u>	66.1
ローパーティション	236,878	56.6
移動パーティション	239,728	77.9
トイレパーティション	479,463	95.9
クリーンルームパーティション	656,159	142.1
ドア製品	561,902	146.4
その他	322,339	111.3
合計	<u>5,094,525</u>	<u>80.9</u>

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 いずれの販売先も、販売実績の総額の100分の10未満であるため、相手先別の販売実績及び当該販売実績に対する割合の記載を省略しております。